

感染防止対策加算算定病院のみなさまへ

いつも大変お世話になり、誠にありがとうございます。

ご承知のように岐阜県でもついに院内感染、高齢者施設内感染が現実のものになり、しかもこの1週間で同時多発的に県内複数の施設で火の手があがっております。我々医療従事者にとってはまさに緊急・非常事態といてよい深刻な状況と受け止めなければなりません。今までも万全の対策をとられていたとは思いますが、以下の点を今一度病院長先生をはじめ、関係者で広く周知いただき、これ以上の拡大を阻止すべく、全病院・施設一丸となって対応いたしましょう。

このメールはできれば高齢者施設や、医師会さま、病院協会さまでも共有いただきたく思います。すべての県内の医療関連施設の幹部の皆様が届きますように。

①施設職員がきっかけで広がるケースも目立ちます。職員が業務上リスクがあるというこ
とで、感染予防策をしっかりとしているとは思いますが、施設外の日常生活、とくに飲食を
伴った長時間の会話によりウイルスに感染し、さらに体調不良となつてからも勤務を続け
ていたために感染拡大するケースが複数見られます。今一度職員およびそのご家族の日常
生活において、気が緩まないように周知徹底いただきたいですし、また人員不足の中では
ありますが、体調不良の際には適切に休み、診療を受けていただきますよう、そういうこ
とで体調不良者にとってストレスなく行われるような雰囲気づくりをよろしくお願いいた
します。

②①のようにウイルスはおおかたのケースで患者さん以外から院内にもたらされることが
多いのですが、最近では市中での蔓延もあり、他疾患で入院後にコロナ陽性が判明するケー
スも見られます。院内に来られるすべての患者さん、見舞い者のスクリーニング（体温）
は行われていると思いますが、体温に加え、症状チェックをチェックシートの毎回の提出
など工夫していただき、施設にとっての水際作戦を強化してください。24時間体制での施
設内入り口でのチェック体制を整えていただくのがよいと思います。今は有事といてよ
い状況ですので、コロナ診療を直接担当しないすべてのスタッフも動員して体制確保をお
願ひいたします。

③また、院内でもし他疾患で入院して後からコロナ陽性とわかつた場合でも、結果的に感
染拡大させないような平素の感染対策（新しい標準予防策であるマスクの常用、手指衛生
の強化）などを、今一度すべての職員が遵守できているか点検・強化願ひます。重要なこ
とはコロナ担当職員のみならず、その他の日常診療を担当している職員様にもご理解・協
力いただき施設一丸となって対応することです。コロナ担当職員も担当しない職員に敬意
を払い、また担当しない職員も同様に担当職員の業務に敬意を払って、お互いのコミュニ
ケーションを大切に、情報共有して頑張りましょう。

④入院患者・入所者さんは必ずしも全員部屋の外でマスクをしていただけるとは限りませ
ん。特にご高齢で認知症のある方などは無理があると思います。ですから完璧にはいきま
せんが、それでも毎日の体調チェックを強化していただきたく思います。施設内に毎日入
ってこられる方と同様に、すべての入院患者・入所者の体温と体調チェックをチェックシ
ートを用いて確認する体制が実施できているか、今一度確認・強化してください。

⑤デイサービスなど、施設内に来られる方が職員同様日常生活と施設を行ったり来たりさ
れている方については、よりウイルスを保有して施設内を利用されるリスクが高く、結果
的に施設内にウイルスを拡散させてしまうこととなります。これらの利用者さんはマスク
の着用が無理な方も多く、体温・体調チェックに加え、酸素飽和度なども含め、普段と違
う兆候を見逃さないようにしてください。

⑥加算1⇔2、1⇔1での連携も生かして、関連施設の有事の際には暖かく支援をお願いいたし
ます。また近隣の高齢者施設での有事の際には、加算算定病院がご相談に乗っていただい
たり、また実際に現場に訪問してアドバイスをいたくなり、暖かくご支援をよろしくお
願ひいたします。私が委員長を務めております岐阜県院内感染対策協議会に岐阜県健康福
祉部医療整備課を通じてご連絡いただければ、また高齢福祉課を通じてご連絡をいただ
ければ支援を調整しますが、近隣の加算算定施設には実際の支援をお願いすることがあると
思います。また積極的に地域毎の協力体制の強化をお願いいたします。どうぞお力をお貸
しくください。

⑦各病院のコロナ患者のご担当数も極めて多くなってきております。本当にお疲れ様です。保健所からの入院要請、他施設からの転院要請について、ぜひ万全に対応してください。今週からは直接宿泊療養のシステムも稼働しております。ぜひ有効活用お願いいたします。またいったんは入院された方も、経過がよければ積極的にご活用ください。両社とも基準が県から示されておりますので、ご確認ください。なお、宿泊療養にご協力、人員を出していただいております、基幹医療施設の医師、看護師、医師会の先生方に厚く厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

⑧一方で、空床補償を受けておられる施設におかれまして、とくに無症状・軽症のみの受け入れを予定しておられる施設においても、単に入院を10日間するのではなく、毎日のきめ細かい症状経過観察をしていただき、症状の出現、悪化にもできる限り自院で管理していただきたく思います。また、酸素飽和度など活用いただきながら、呼吸不全が増悪するようであれば、連携施設や保健所とご相談いただきたく思います。すなわち、適切に経過観察して、症状によってはできる限り自院で対応していただきながら、急速な呼吸不全のような重症化を早期に見つけていただくことが、無症状・軽症者受け入れ施設にお願いしたいことです。

⑨いずれの場合も、感染者に責任や罪はありません。快癒を祈り、「お大事に」の言葉をお願いいたします。コロナハラメントがないように、施設内での意識を高めてください。

★このまま広がりや抑え込まれなければ、岐阜県の医療・高齢者介護福祉のシステムは崩壊します。ぜひ年末年始に向けてすべての医療者・介護福祉関係者全員の力を貸してください。どうぞよろしくをお願いいたします。

村上啓雄
Nobuo MURAKAMI

ぎふ総合健診センター・所長・理事
(岐阜大学名誉教授)
(同医学部附属地域医療医学センター・特任教授)

〒501-6133
岐阜市日置江4丁目47番地
TEL 058-279-3399
FAX 058-279-3375
